

日本気象学会昭和60年秋季大会の告示

1. 期 日：10月29日（火）～31日（木）
2. 会 場：大阪科学技術センター
（大阪市西区靱本町1丁目 8-4）
TEL. 06-443-5321
3. 研究発表
 - 1) 講演申込・予稿原稿の締切 8月22日（木）**必着期限厳守のこと**
 - 2) 申込先：東京都千代田区大手町 1-3-4
気象庁数値予報課内 講演企画委員会
（岩崎俊樹）
 - 3) 様式：本号挿入の申込用紙に記入，予稿原稿を添えて申し込むこと。原稿用紙は本誌挿入のものを使用すること。詳細は次頁の講演予稿集原稿の書き方をご覧ください。
 - 4) 講演時間：討論を含め12分程度
講演時間は事情により短縮されることがあります。

シンポジウム

都市化と災害

講演企画委員会からのお知らせ

希望部門の変更について

気象学会の講演申込みにおいて、希望部門を下記のように変更します。

1. 大分類 1. 自由大気現象の中分類では、数値モデルを廃止し、積雲対流と数値計算手法を加えます。
2. 大分類 4. 応用気象・気象測器などの中分類で

は、気象統計、気象教育及び気象学史を廃止し、その他（統計、教育など）を加えます。

以上の変更はプログラム編成作業を能率よく行うためのもので、宜しく御協力お願い致します。

月例会「第29回山の気象シンポジウム」のお知らせ

日 時：昭和60年6月15日（土）13：00～18：00

場 所：気象庁第1会議室（5階）

プログラム

1. 霧ヶ峰と藤原先生の思い出（理科大）大井正一
2. 石鎚山の霧氷（気象研）藤田敏夫
3. 山林火災時の気象について（気象研）吉川友章
4. 尾瀬の気象（目黒二中）榎原保志
5. 北アルプスの気象（4）
（理科大）大井正一，（河原中）前野十行
6. 年末・年始における山の気象 都岳連気象委員会
7. 低気圧通過時の登山の可能性について

（新日本気象海洋）和田光明

8. 低気圧に伴う雲、降水の機構（気象庁）奥山 巖

9. パミール国際キャンプの気象データ

（東京大，星稜登高会）中川和道

10. カラコルムの気象と氷河

（東大名誉教授）中村純二

11. 日本の氷河地形と北欧の氷河

（専修大付属高）小岩清水

本会合についての問い合わせは、気象庁・高層課の村まで。